

練習問題23 決算修正事項と計算書類の作成 <問題23-②> 貸借対照表を作成する

<問題23-①>の解答の精算表(解答39頁)にしたがって、B/Sを作成しなさい。

貸借対照表
××02年3月31日現在

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産				流動負債			
現金預金				短期運営資金借入金			
有価証券				事業未払金			
事業未収金				・			
・				1年以内返済予定設備資金借入金			
貯蔵品				1年以内返済予定長期運営資金借入金			
・				・			
立替金				未払費用			
前払金				預り金			
前払費用				職員預り金			
1年以内回収予定長期貸付金				前受金			
短期貸付金				前受収益			
仮払金				仮受金			
その他の流動資産				賞与引当金			
徴収不能引当金	△			その他の流動負債			
固定資産				固定負債			
基本財産				設備資金借入金			
土地				長期運営資金借入金			
建物				・			
・				退職給付引当金			
その他の固定資産				・			
土地				その他の固定負債			
建物							
・				負債の部合計			
車両運搬具				純 資 産 の 部			
器具及び備品				基本金			
・				国庫補助金等特別積立金			
ソフトウェア				その他の積立金			
・				次期繰越活動増減差額			
投資有価証券				(うち当期活動増減差額)	()		
長期貸付金							
・				純資産の部合計			
その他の固定資産				負債及び純資産の部合計			
資産の部合計							

(注意事項)

《徴収不能引当金の表示》

徴収不能引当金は、資産から控除することとされています(テキスト114頁)。この問題では、間接控除方式によって、資産の部に△を付して計上しています。

《純資産の部の「次期繰越活動増減差額」の表示》

精算表の「次期繰越活動増減差額(期首)」と「当期活動増減差額」の合計が、次期繰越活動増減差額の期末残高ですので、当該金額をB/Sに記載します。また、当期活動増減差額は、括弧()内に内書きします。